

男子戦評

大会名 第71回全日本バレーボール高等学校選手権大会青森県代表決定戦

日 時 平成30年11月10日～11日

会 場 カクヒログループスタジアム

男子決勝（11月11日）

$$\text{五所川原工業高等学校} \quad 3 \quad \left\{ \begin{array}{l} 25-16 \\ 22-25 \\ 25-21 \\ 25-16 \end{array} \right\} \quad 1 \quad \text{弘前工業高等学校}$$

ファーストレフリー 新岡 勇士
セカンドレフリー 津嶋 由香

5年連続41回目の選手権大会出場を目指す弘前工業高等学校（以下弘工）と5年ぶり7回目の出場を目指す五所川原工業高校（以下五工）との対戦である。

第1セット、五工は岡本のスパイクで先制に成功。続いて三上のサービスエースや佐々木の速攻で一気にペースを握る。弘工のタイムアウト後も五工はサービスエース、ブロックでさらに加点し、弘工は再びタイムアウト。対する弘工は荻田を軸に攻撃を組み立てるが、五工のブロックが機能し、簡単に得点には至らない。五工が序盤から終始主導権を握り、第1セットを25-16で先取した。

第2セットも序盤から五工が多彩な攻撃を仕掛け、ペースを握る。対する弘工は荻田、工藤、寺山らの攻撃で応戦する。弘工は五工のブロックに対応し始め、中盤には逆転に成功する。終盤は一進一退の攻防になるが、要所で弘工がサイド攻撃を決め25-22で第2セットを制した。

第3セット、弘工は荻田、工藤らで点数を重ねリードを保ちながら試合を進める。対する五工は的を絞らせない攻撃で応戦する。中盤、五工は三上、岡本らの得点で連続得点に成功し、逆転。弘工は選手交代やタイムの要求で打開しようとするが、五工の攻撃が勝り、第3セットは25-21で五工が奪取した。

第4セット序盤、五工は高橋、岡本らの攻撃でリズムを掴む。対する弘工は粘り強い守備とサイドからの攻撃を決め、五工に喰らいつく。中盤、五工は連続得点で抜け出し、良いムードの中、試合を進める。対する弘工は、自チームのミスなどもあり、テンポよく得点できず、流れに乗れない。五工は序盤からのリードを保ち、第4セットは25-16で五工が勝利。セットカウント3-1で五工が5年ぶり7回目の選手権大会出場を決めた。

戦評者 本間 貴士